

# 父親の育児支援と 子どもの事故防止

大阪教育大学

小崎 恭弘

[kozaki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:kozaki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp)

# はじめに

- 子どもが3人います
- 全て男の子です。元保育士です
- 育児休暇3回取りました
- 大学の先生です。保育、児童福祉、子育て支援が専門です
- 父親支援の研究しています
- 東京大学発達保育実践政策学センター研究員
- ファザーリング・ジャパン、関西の顧問です

### ベストセラー

Amazon.co.jpのベストセラー。ランキングは1週間ごとに更新されます。

すべてのカテゴリ

#### 本のベストセラー

- 29日 100位以内  
**やはり俺の青春ラブコメはまちがっている。10.5 (ガガガ文庫)**  
 著者: じんかん8  
 出版日: 2015/3/18  
 文庫  
 価格: ¥ 620
- 5日 100位以内  
**男の子の本当に響く叱り方めくろ**  
 小嶋 恭弘  
 発行会社: 日経出版 (48)  
 発行日:  
 価格: ¥ 1,404  
 ポイント: 43pt (3%)  
 7点の新品/中古品を見る: ¥ 1,404より
- 9日 100位以内  
**世界でいちばん美しい大統領のスピーチ**  
 くさばよしみ, 中川 李  
 発行会社: 日経出版 (11)  
 大正堂  
 価格: ¥ 1,728  
 ポイント: 17pt (1%)  
 15点の新品/中古品を見る: ¥ 1,728より
- 31日 100位以内




# 父親がはやっている？ イクメンブームとは

- ドラマ、テレビで取り上げられるようになった
- 海外のセレブといわれる人々の父親アピール
- 父親関係の本が多く出版されている
- 父親たちのグループが多く作られている
- 保育所、幼稚園、学校行事の父親の参加の増加
- 街中で子どもを連れている父親を見ることが多くなった

# イクメンブーム!



育てる男が、家族を変える。社会が動く。



**育**  
**MEN**  
イクメンプロジェクト

育児を志す男たちが社会へ発信! 新プロジェクト、始動  
「イクメン」を支援する社会へ発信! 育児を志す男たちが社会へ発信!  
育児を志す男たちが社会へ発信! 育児を志す男たちが社会へ発信!

<http://www.ikumen-project.jp>

制度改正により、男性の育児休業が取りやすくなりました。  
育児休業給付金の支給期間が延長されました。  
育児休業給付金の支給額が引き上げられました。  
育児休業給付金の支給対象期間が延長されました。

## イクメンとは?

積極的に育児を行う男性。  
単に子育てをしているだけ  
ではなく、主体的に子育て  
を行い、楽しみ、そしてマ  
マと子どもと一緒に家族を  
創っていく、覚悟と責任の  
ある父親

# 父親が注目される理由

1. 少子高齢化の社会的な課題
2. 育てる側の不安とその抑止
3. 育つ側の不安定さ
4. 男女共同参画社会の到来
5. 夫婦間のバランスの維持
6. 企業の経営戦略と人材戦略
7. 男性自身の家族志向 幸せの価値の変革

# これまでの子育てにおける父親の存在

## ○これまでの父親の立場

- 「二番目の親」 「遅れてきた親」 「母親のサポート役」 「叱り役」
- 「最後に頼りになる人」 「思春期に登場すべき人」

## これらは本当なのか？

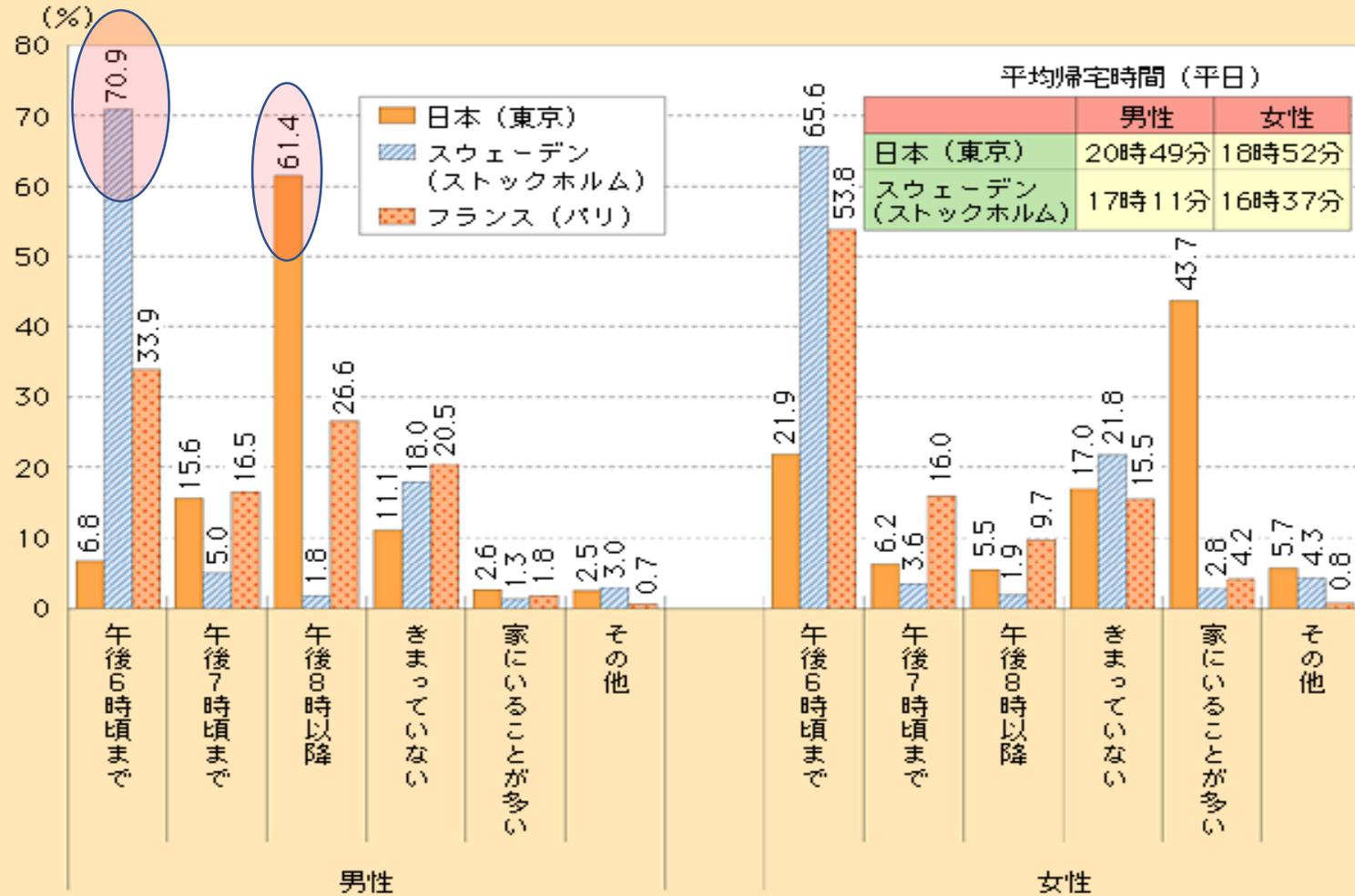
- ・ 母親中心主義
- ・ 精神的な存在
- ・ 経済的な存在
- ・ 母親を支える存在

父親を子育てから遠ざける合理的根拠  
父親の親としての**責任回避**

## このことが

- ・ 母親の育児の過度の負担につながる
- ・ 子どもの育ちにとっての有効な資源の欠如
- ・ **子どもを守る環境の脆弱化（子どもの事故が母親の責任とされる）**
- ・ 「母親=子育て」 「父親=仕事」 の公式の固定化

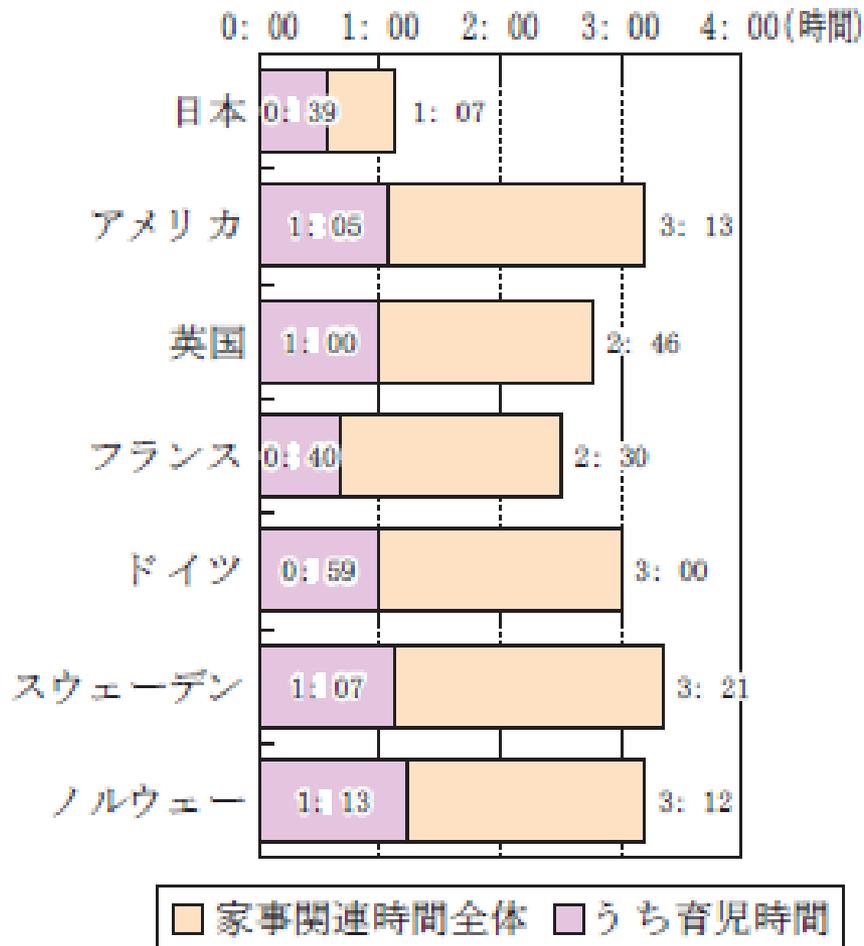
# 男性の帰宅時間・女性の在宅



資料：内閣府経済社会総合研究所編「スウェーデン家庭生活調査」（2005年）、「フランスとドイツの家庭生活調査」（2004年）。  
注：フランス（パリ）は、平均帰宅時間のデータはなし。

# 極端に短い家事・育児時間

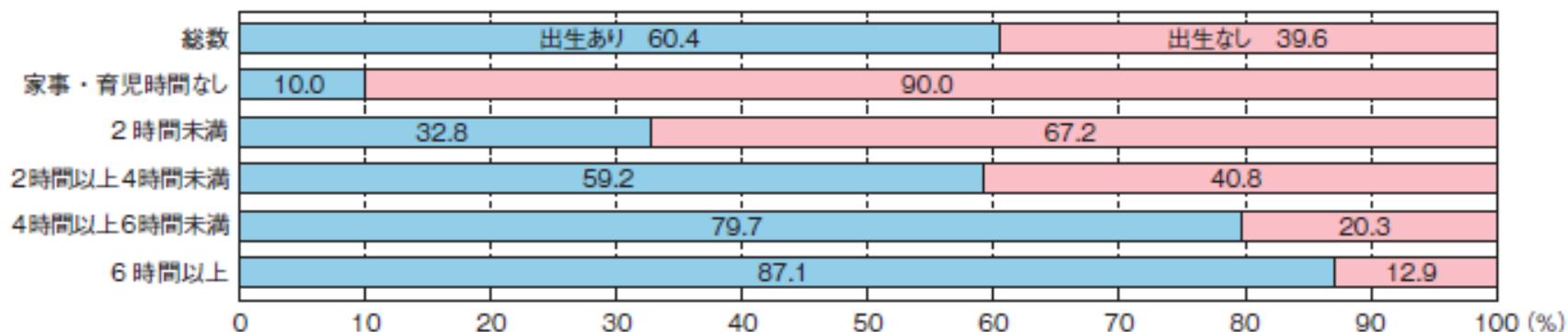
## ○6 歳未満児をもつ夫の家事・育児時間



資料: Eurostat “How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men”(2004)、Bureau of Labor Statistics of the U.S. ”America Time-Use Survey Summary”(2006)、総務省「社会生活基本調査」(平成23年)  
※日本の数値は、「夫婦と子供の世帯」に限定した夫の時間である。

出典:平成25年版 少子化社会対策白書  
<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2013/25pdfhonpen/25honpen.html>

# 父親の育児の出生との関係



資料：厚生労働省「第14回21世紀成年者縦断調査（平成14年成年者）」（2015年）

注：1. 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。

①第1回調査から第14回調査まで双方から回答を得られている夫婦

②第1回調査時に独身で第13回調査までの間に結婚し、結婚後第14回調査まで双方から回答を得られている夫婦

③出生前調査時に子ども1人以上ありの夫婦

2. 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第13回調査時の状況である。

3. 13年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

4. 「総数」には、家事・育児時間不詳を含む。

出典：平成29年版 少子化社会対策白書

<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2017/29pdfhonpen/29honpen.html>

# 働き続ける男性

- 過度の長時間労働
- 30代～40代が最も働かなければならない
- 育児世代の父親と層が重なる
- 長時間労働・通勤のため帰宅時間が遅くなる
- 母親が育児・家事を一方的に担う

女性活躍推進と男性の家庭進出は表裏一体  
男性家庭進出推進法の成立を!

# 父親支援とは

- 父親が親としての本来の力が発揮できるようにするための、支援者のかかわり方や環境の整備の総称。
  - 単に父親のためのプログラムをすることだけではありません。
  - 具体的には以下の4つが達成できるように、様々に支援することです。
- 1.父親が子育てについての正しい知識や理解、価値観を得られるように父親を**エンパワメント**する。
  - 2.父親が母親との**パートナーシップ**について理解し、夫婦ともに子育てができるようにする。
  - 3.父親が仕事や、生活、家庭、地域との良いかかわりができるように、**ワークライフバランス**を意識した生活者になれるようにする。
  - 4.父親自身が積極的に育児や家庭生活の主人公として暮らしていけるように、地域社会の環境に対して関わりや**ネットワーク**ができるようにする。

# 父親支援の課題

- 父親の参加が少ない
- 父親同士が会話をしない
- 父親が何を考えているのかわからない
- 忙しい・興味を持ってくれない
- つながらない・会話が続かない
- ママがいないと何もできない

これらの共通項は・・・

子育ての未経験、子どもの無理解、

コミュニケーション能力の欠如

男性が**市民的な成熟がない**

(地域社会、未来に対する責任のなさ)

# 子どもの事故について

## 平成30年度版 消費者白書

### 第1部 第2章 第1節

#### 「子どもの事故を社会全体で防ぐ」

子どもが事故に遭った時に、往々にして、**保護者の責任**が全てであるかのように受け取られ、保護者も自身の責任と感じ、事故の原因究明がうやむやになってしまうことがあります。しかし、事業者が安全な製品を供給していたら、行政が適切に安全の基準を設けていたら、保護者に事故の危険性やそれを防ぐ方法を伝えていたら、事故は起きなかったかもしれません。事故は、**保護者だけでなく、社会全体で防ぐものです。**

- ・ 保護者とは誰か?父親は入っているのか?

# 2016年の子どもの死因上位5位まで

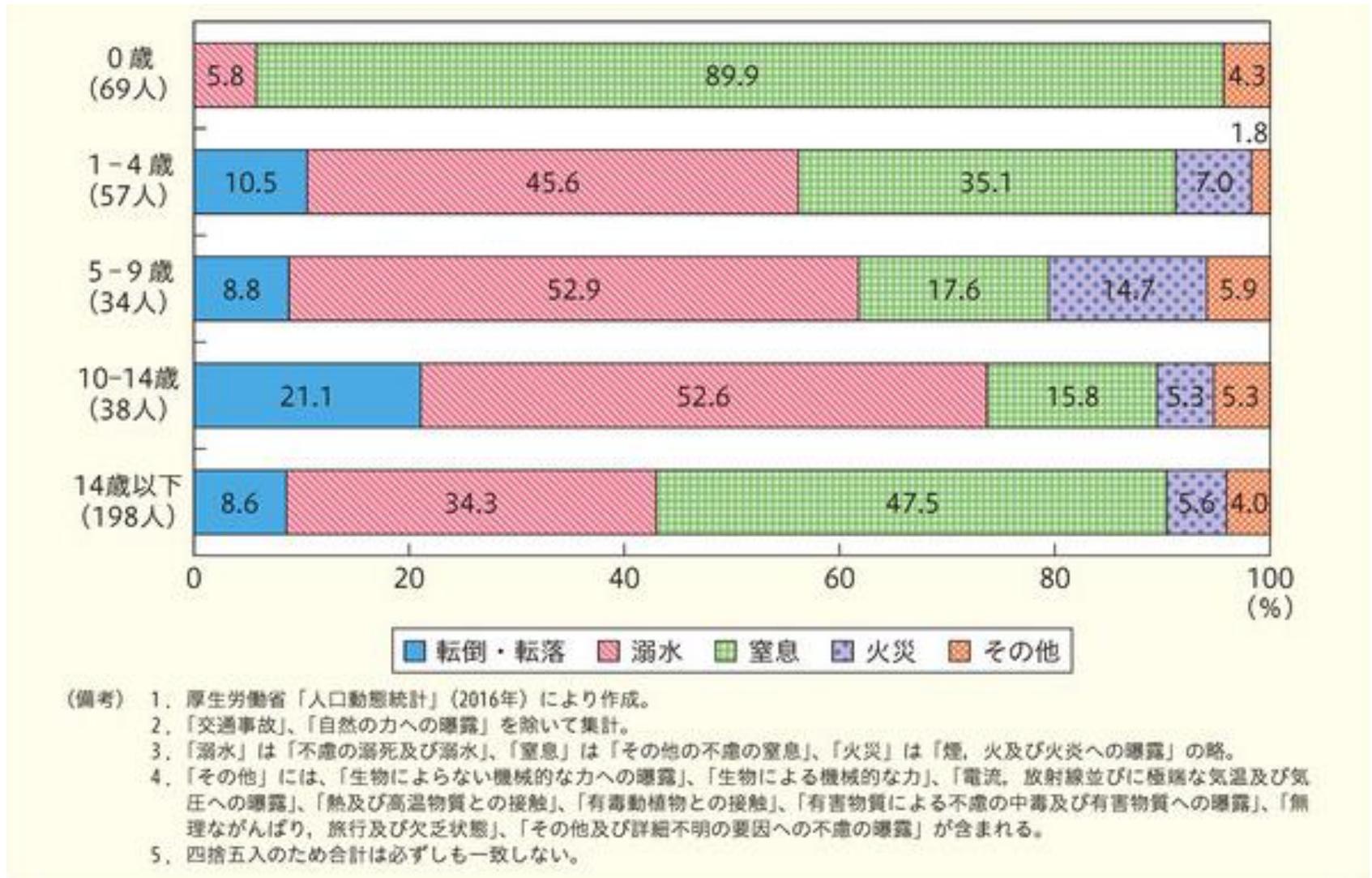
|                  | 1位                                  | 2位                                | 3位                                | 4位                                | 5位                               |
|------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 0歳<br>(1,928人)   | 先天奇形, 変形<br>及び染色体異常<br>(663人、34.4%) | 周産期に特異的<br>な呼吸障害等<br>(282人、14.6%) | 乳幼児突然死症<br>候群<br>(109人、5.7%)      | 不慮の事故<br>(73人、3.8%)               | 胎児及び新生児<br>の出血性障害等<br>(67人、3.5%) |
| 1-4歳<br>(690人)   | 先天奇形, 変形<br>及び染色体異常<br>(150人、21.7%) | 不慮の事故<br>(85人、12.3%)              | 悪性新生物<br>(59人、8.6%)               | 心疾患<br>(40人、5.8%)                 | 肺炎<br>(35人、5.1%)                 |
| 5-9歳<br>(391人)   | 悪性新生物<br>(84人、21.5%)                | 不慮の事故<br>(68人、17.4%)              | 先天奇形, 変形<br>及び染色体異常<br>(32人、8.2%) | 肺炎<br>(19人、4.9%)                  | 心疾患<br>(16人、4.1%)                |
| 10-14歳<br>(440人) | 悪性新生物<br>(95人、21.6%)                | 自殺<br>(71人、16.1%)                 | 不慮の事故<br>(66人、15.0%)              | 先天奇形, 変形<br>及び染色体異常<br>(27人、6.1%) | 心疾患<br>(19人、4.3%)                |

- (備考) 1. 厚生労働省「人口動態統計」(2016年)の「性・年齢別にみた死因順位(死亡数、死亡率(人口10万対)、割合(%))」により作成。  
 2. 0歳は「乳児死因順位に用いる分類項目」、それ以外は「死因順位に用いる分類項目」に基づく。  
 3. 「心疾患」は心疾患(高血圧性を除く)、「周産期に特異的な呼吸障害等」は周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害、「胎児及び新生児の出血性障害等」は胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害の省略。

出典：平成30年版消費者白書

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_research/white\\_paper/2018/white\\_paper\\_124.html](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/white_paper/2018/white_paper_124.html)

# 子どもの「不慮の事故」による 年齢層別死因内訳 2016年



# 子どもの事故は防げる可能性がある

- 子どもは未熟で、幼く、危険な存在  
子どもの存在が最大のリスク
- 子ども自体の理解を行う  
正しい「子ども観」を身につけてもらう
- 保育的には「環境整備」を徹底する  
子どもの責任ではなく周りの意識

# リスクとは何か

- リスク【risk】

1 危険。危険度。また、結果を予測できる度合い。予想通りにいかない可能性。「一を伴う」「一の大きい事業」「資産を分散投資して一の低減を図る」

2 保険で、損害を受ける可能性。

「危険の起きる可能性」 × 「結果の程度」  
適切なリスクを理解する

# 教育保育施設における事故報告集計

- 教育・保育施設等で発生した死亡事故や治療に要する期間が30日以上の負傷や疾病を伴う重篤な事故等で、平成30年1月1日から平成30年12月31日の期間内に報告のあった事故
- 報告件数は1641件あった。  
負傷等の報告は1632件あり、そのうち1330件(81%)が骨折によるものであった。死亡の報告は19件あった。事故の発生場所は施設内が1461件(89%)であり、そのうち805件(55%)は施設内の室外で起きていた。
- 施設別死亡事故件数  
認可保育所 2名の死亡  
認可外保育所 6名の死亡      家庭的保育事業 1名
- 年齢別 0歳児4名   1歳児4名   6歳児1名   睡眠中8名の死亡

# これまでの死亡報告推移

## ○ 死亡事故の報告件数

|     | 幼保連携型<br>認定こども園 | 認可保育<br>所 | 小規模<br>保育事業 | 家庭的<br>保育事業 | 病児保育<br>事業 | 認可外<br>保育施設 | 合計   |
|-----|-----------------|-----------|-------------|-------------|------------|-------------|------|
| H16 | -               | 7件        | -           | -           | -          | 7件          | 14件  |
| H17 | -               | 3件        | -           | -           | -          | 11件         | 14件  |
| H18 | -               | 5件        | -           | -           | -          | 8件          | 13件  |
| H19 | -               | 3件        | -           | -           | -          | 12件         | 15件  |
| H20 | -               | 4件        | -           | -           | -          | 7件          | 11件  |
| H21 | -               | 6件        | -           | -           | -          | 6件          | 12件  |
| H22 | -               | 5件        | -           | -           | -          | 8件          | 13件  |
| H23 | -               | 2件        | -           | -           | -          | 12件         | 14件  |
| H24 | -               | 6件        | -           | -           | -          | 12件         | 18件  |
| H25 | -               | 4件        | -           | -           | -          | 15件         | 19件  |
| H26 | -               | 5件        | -           | -           | -          | 12件         | 17件  |
| H27 | 1件              | 2件        | 1件          | 0件          | 0件         | 10件         | 14件  |
| H28 | 0件              | 5件        | 0件          | 1件          | 0件         | 7件          | 13件  |
| H29 | 1件              | 2件        | 0件          | 0件          | 1件         | 4件          | 8件   |
| H30 | 0件              | 2件        | 0件          | 1件          | 0件         | 6件          | 9件   |
| 合計  | 2件              | 61件       | 1件          | 2件          | 1件         | 137件        | 204件 |

# うつぶせ寝の危険性

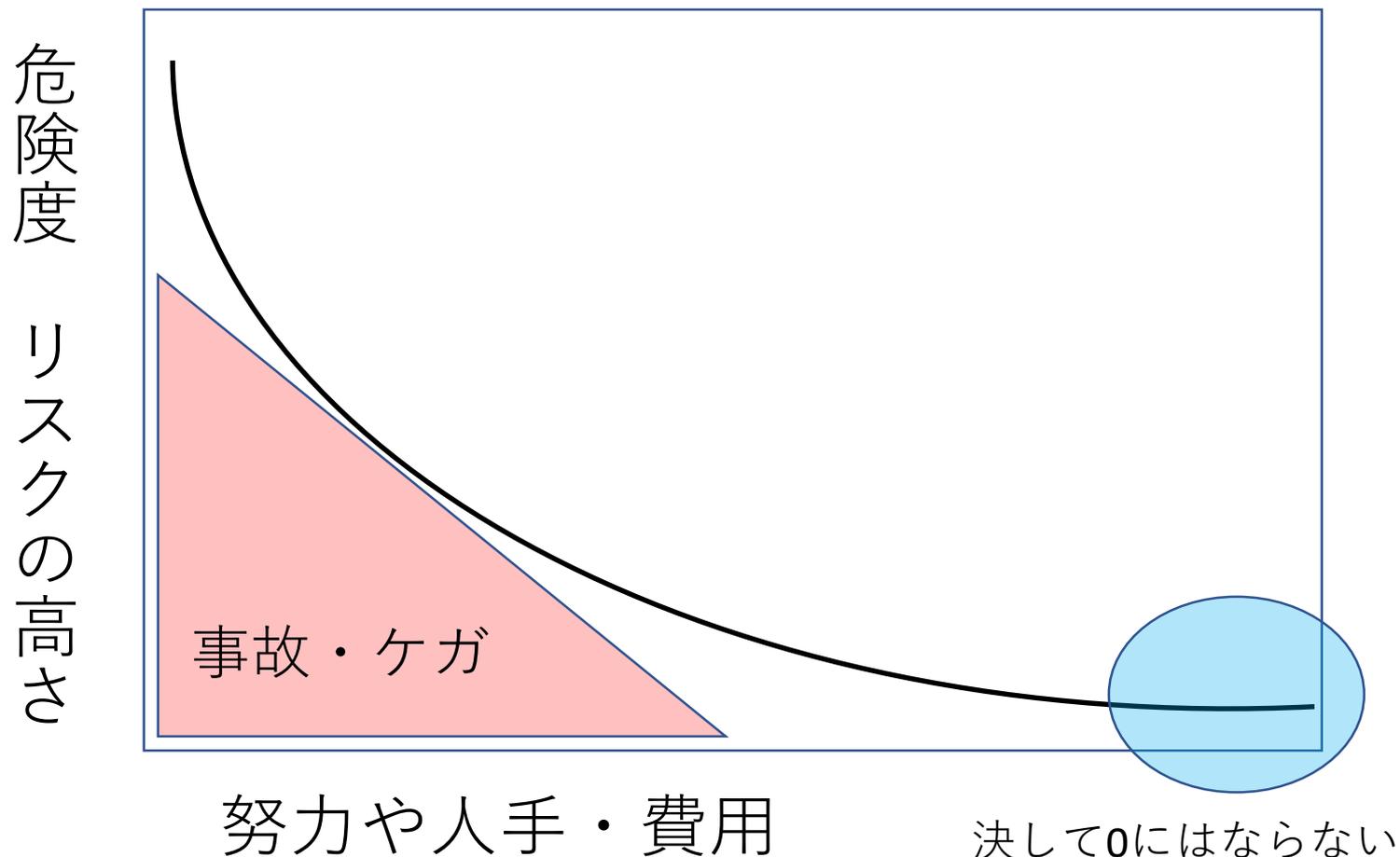
睡眠中の死亡事故のうち、「うつぶせ寝」の数

|         | 認可保育所 | 認可外保育施設 | 合計 |
|---------|-------|---------|----|
| 平成 24 年 | 2名    | 3名      | 5名 |
| 平成 25 年 | 2名    | 7名      | 9名 |
| 平成 26 年 | 0名    | 4名      | 4名 |
| 平成 27 年 | 0名    | 6名      | 6名 |
| 平成 28 年 | 2名    | 2名      | 4名 |
| 平成 29 年 | 0名    | 1名      | 1名 |
| 平成 30 年 | 0名    | 2名      | 2名 |

内閣府子ども子育て本部 HPより

[https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/outline/pdf/h30-jiko\\_taisaku.pdf](https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/outline/pdf/h30-jiko_taisaku.pdf)

# 負担と効果の関係



# リスクマネジメントの意義

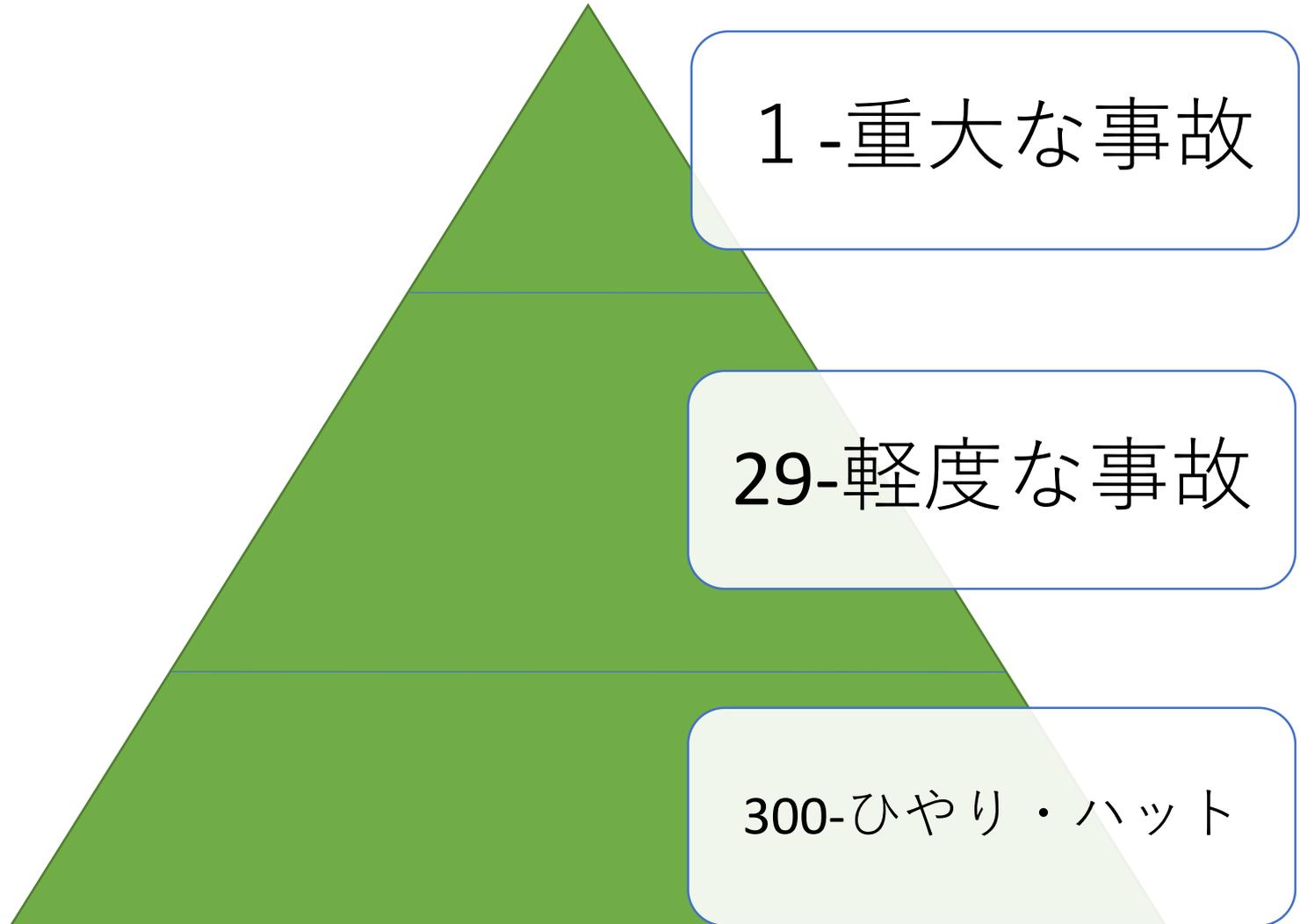
人はミスを侵してしまう存在である

**インシデントの  
軽減**

**事故は  
ゼロにならない**

- リスクマネジメントシステムの構築
- 事故を未然に防ぐ
  - 事故をゼロに近づける。
  - 事故が軽くてすむようにする。
- 事故が起こった時に適切な対応ができるように備える

# ハインリッヒの法則



# ハインリッヒの法則とは

- ハインリッヒが1930年代に工場災害調査から導き出した法則(経験則)。
- 「1件の重大な災害事故の背景には29件の軽度な災害事故があり、さらにその背景には300件の傷害を伴わない事象(ヒヤリハット)が存在する。」(インシデント)
- 保育の日常で事故には至らなかった「ヒヤリハット」した事例を見直すこと。
- 「ヒヤリハット」した事例を減らしていくことが事故の軽減に繋がる。

# 事故の要因分析 SHELLモデル



S

- Software
- 運営等システムの問題

H

- Hardware
- 施設環境など物的問題

E

- Environment
- 雰囲気や関係性

L

- Liveware 1
- 当人の問題

L

- Liveware 2
- 関わる他人の問題

# 子育てにおけるリスクマネジメント

- 子育ては人の生活の営みなので、当然多くのリスクが存在する。
- 特に子どもたちは、未熟で未発達である。危険の予知や回避の能力などは、低く危険な存在である。
- 家庭内において、子どもを守ることは保護者の責任であり、子育ての基本的な事項である。
- しかし同時に子どもたち事態の安全の能力を育てていくことも、子育ての重要な側面である。
- 家庭は、子どもにとって安全な場所でなければならない。

# リスクと安全

- 安全教育

1. **消極的安全** リスクの回避

すべての危険・リスクを排除する。

核シェルターの安全 **0歳児の保育活動**

2. **積極的安全** リスクを予想した活動

危険やリスクを予想し取り入れていく活動。

ナイフを使いこなすようになる安全 **幼児の保育活動**

子育てにおいては「安全教育」を意識して、  
子どもたちの安全に対する力を育み根付かせる必要がある。

# まとめ

- 子どもが最大のリスクであり、子育てはリスクマネジメントを包括している。
- パパもママもみんな、守られながら育てられたから、今の成長がある。今度は守る順番です。
- 母親だけが子育てを行う社会やシステムは、子どもにとって残念な環境。
- 父親が積極的に子育てに関わることで、子どもにとってプラスに働き、危険を回避することにつながる。
- より豊かな環境を父親が関わることで作っていききたいです。